

英語科

第2学年 英語科学習指導案

令和元年9月27日(金) 5校時

上山中学校 2年2組 37名

指導者 上原 亮輔 (T1)

Rachel Elena (T2)

【年間指導計画 2学年 9月計画】

1 単元名 Program 6 A Work Experience Program 『SUNSHINE English Course P.52 / 61』

2 単元の目標

(1) 不定詞を用いた文の構造を理解できるようにする。

【知識】

町や地域、自分の体験したことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身につけることができるようにする。【技能】

(2) 外国の人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

【思考・判断・表現】

(3) 外国の人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書こうとする。

【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年告示)の「(5)書くこと」に関連する内容を取り扱い、「イ. 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする」ことを目的とする。

言語材料は不定詞の3つの用法(名詞・副詞・形容詞)である。

題材としては、職場体験を終えた生徒たちが、将来の夢、職場体験の様子、また職場体験で気づいたことなどを話し合い、将来の夢と自分の課題という主旨の内容でスピーチを行う設定である。本校においても、実際に職場体験が終わったばかりで、生徒たちは、職場体験について意欲や関心をもって書いたり話したりすることができるだろう。

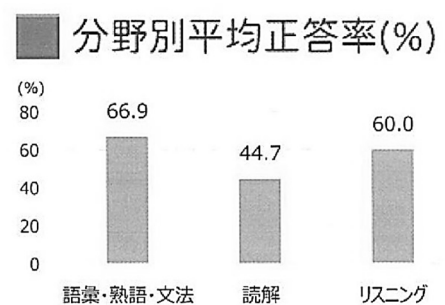
(2) 生徒観

本学級は、互いに協力してペア・グループ活動に取り組むことができる。学習規律が整っており、全体として学ぶ意欲を感じることができる。

今年5月に実施した「英検 IBA」の分野別平均正答率は図1のようになり、「語彙・熟語・文法」と「リスニング」の正答率がおおむね60%程度だったのに対し、比較的長い文章を読んで答える「読解」は正答率50%を下回る結果となった。

また今年4月に実施した生徒アンケート(本校2年生110名対象)では、「英語の授業が好き」「英語の授業にすすんで参加している」「英語の勉強は大切だ」「外国の人と英語を使ってコミュニケーションがと

【図1】



英検 IBA リーディング・リスニング版
(今年5月実施：全2年生対象)

れるようになりたい」という質問に肯定評価を回答した生徒が8割程度にのぼった一方で、「英語についてどの程度できていると思いますか」に対する回答は図2のような結果となった。

【図2】		項 目	肯定評価	否定評価
表 現	①	英単語を書くことができる (書くこと)	81 %	19 %
	②	読み上げられた英文の書き取りができる (書くこと)	78 %	22 %
	③	生徒同士で英語を使ってやり取りできる (話すこと)	66 %	34 %
	④	簡単な英文を書くこと (英作文) ができる (書くこと)	51 %	49 %
	⑤	日常的な話題について英語でやり取りができる (話すこと)	48 %	52 %
	⑥	自分の意見や感想を英語で発表できる (話すこと)	44 %	56 %
理 解	⑦	先生や ALT が話す英語を聴き取ることができる (聞くこと)	85 %	15 %
	⑧	発音練習や英文の音読することができる (読むこと)	84 %	16 %
	⑨	教科書やリスニング教材の英文を聴き取ることができる (聞くこと)	81 %	19 %
	⑩	教科書以外の英語の文章 (長文) を読むことができる (読むこと)	39 %	61 %

※ 肯定評価：「ほぼできている」「どちらかといえはできている」

否定評価：「どちらかといえはできていない」「ほとんどできていない」

図2では、生徒の肯定評価が高い順に質問項目を並べ替えた。肯定評価が半数程度、もしくは下回る結果となったのは、「表現」に関する質問項目では④⑤⑥、「理解」に関する質問項目では⑩である。とくに⑩は「英検 IBA」の分野別平均正答率が示した結果を裏付けるもので、生徒たち自身も「長い文章を読む」ということに苦手意識（もしくは面倒くささ）を感じているようだ。

(3) 指導観

本単元を通して、不定詞の名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法、または既習の言語材料を用いて、職場体験の様子や自分の考え、気持ちなどを表現する力を育てたい。

本単元では、まず、図2の質問項目⑩「読解」に関する課題に応えるために、段階に応じたリーディング活動を実施する。概要から詳細へ理解を深めるステップ (Step 1)、音読を通して表現を身に付けるステップ (Step 2)、そして読んだ内容をまとめて表現へつなげるステップ (Step 3) を適宜導入することで、何度も英文にふれながら理解から表現へつなげることができるだろう。

また、図2の質問項目⑤⑥「話すこと」に関する課題に応えるために、帯活動としてスモールトークを実施する。伝えたい内容と伝えるための言語材料を同時に思考・判断しながら話す、という対話活動を計画的にすすめることで、考えながら話す力を身につけることができるだろう。また対話を振り返りながら生徒の困り感をとりあげ、既習表現によって伝えられるという経験を積ませることで、伝え合う楽しさを感じることができるだろう。

言語活動に関しては、考えながら話し、それをもとに書き、書いたものを互いに読み合うという技能統合型の学習指導を、単元で二回実施する。具体的な手順としては、①マッピング、②マッピングをもとにした対話 (説明から対話へ)、③対話をもとにしたライティング、④視点をもって他者のライティングを読む、の4つを取り入れた。4技能をバランスよく育成する技能統合型の学習指導をすすめることで、コミュニケーションの目的・場面・状況等に応じて、生徒自らが「見方・考え方」を働かせ、表現するための英語を考えられるようになるだろう。

単元テストでは、理解問題にて不定詞の文構造や意味を理解できているか、70～90語の教科書以外の英文を読んでその要点を適切に理解できているかを見取り、表現問題にて不定詞や既習表現を用いて身近な事柄 (修学旅行「長崎での自由行動プラン」) について自分の考えを表現することができるかを見取る。

4 単元の評価規準

(ア) コミュニケーションへの関心・意欲・態度	(イ) 外国語表現の能力	(ウ) 外国語理解の能力	(エ) 言語や文化についての知識・理解
外国の人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書くとしている。	外国の人に「行ってみたい」と思ってもらえるように、町や地域、自分の体験したことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書いている。	/	不定詞を用いた文の構造を理解している。 【知識】 町や地域、自分の体験したことなどについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身につけている。 【技能】

5 指導と評価の計画

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準	評価方法
1	○自分のしたいことを言えるようにする。 ・不定詞（名詞的）の文構造を理解する。 ・今週の予定について尋ねる（インタビュー活動）。 ・新出単語の学習	(ア) (エ)	活動の観察 英語学習ノート P.60.61 後日ペーパーテスト
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ・帯活動【夏に好きな食べ物】 A: What do you like to eat in summer? B: I like to eat BBQ because I can eat it outside. </div> ○教科書本文（Part 1 p.53）の内容理解。 ・由紀の職場体験について内容を理解する。（Step 1・2） ・読んだ内容について相手に伝わるよう話し、要約を書く。（Step 3）	(ア) (イ)	活動の観察 英語のパートナー P.64.65 後日ペーパーテスト
3	○週末にしたことについて尋ねたり伝えたりする。 ・不定詞（副詞的用法）の文構造を理解する。 ・週末にしたことについて尋ねる（インタビュー活動）。 ・新出単語の学習	(ア) (エ)	活動の観察 英語学習ノート P.62.63 後日ペーパーテスト
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ・帯活動【夏にする好きなこと】 A: What do you like to do in summer? Why? B: I like to go to the festival. </div> ○教科書本文（Part 2 p.55）の内容理解。 ・職場体験について先生と武史の対話文を理解する。（Step 1・2） ・読んだ内容について相手に伝わるよう話し、要約を書く。（Step 3）	(ア) (イ)	活動の観察 英語のパートナー P.66.67 後日ペーパーテスト

5	<p>・帯活動【オリンピックで見たい競技①】</p> <p>A: If you watch the Olympics, what event do you want to watch?</p> <p>B: I want to watch basketball.</p>	(ア) (イ)	活動の観察 後日ペーパーテスト ワークシート
本時	<p>○自分の職場体験の仕事内容について話したり書いたりする。</p> <p>・教科書本文のリーディング活動をへて、自分の職場体験を振り返る対話をペアで行い、ALTの友人に自分が体験した職場を紹介する文を書く。また、書いた紹介文をペアで共有する。</p>		
6	<p>○何をするためのものか言えるようにする。</p> <p>・不定詞（形容詞的用法）の文構造を理解する。</p> <p>・物当てゲーム（インタビュー活動）。</p> <p>・新出単語の学習</p>	(ア) (エ)	活動の観察 英語学習ノート P.64.65 後日ペーパーテスト
7	<p>・帯活動【オリンピックで見たい競技②】</p> <p>A: On the Paralympic games, what do you want to watch?</p> <p>B: Wheelchair tennis games. It's very speedy and powerful.</p> <p>○教科書本文（Part 3 p.57）の内容理解。</p> <p>・桃子の職場体験についての発表内容を理解する。（Step 1・2）</p> <p>・読んだ内容について相手に伝わるよう話し、要約を書く。（Step 3）</p>	(ア) (イ)	活動の観察 英語のパートナーP.68.69 後日ペーパーテスト
8	<p>○「オリンピックで見たい競技」について話したり書いたりする。</p> <p>・教科書本文のリーディング活動をへて、オリンピックで見たい競技についての対話をペアで行い、それについて英文を書く。また、書いた文をペアで共有する。</p>	(ア) (イ)	活動の観察 後日ペーパーテスト ワークシート
9	<p>○自分の職場体験の仕事内容についてスピーチ原稿を書く。</p> <p>・教科書本文のリーディング活動をへて、ALTの友人に向けて書いた職場の紹介文（第5時）をスピーチ原稿という形で書き直し、それについて発表し、感想を述べ合う。</p>	(ア) (イ)	活動の観察 後日ペーパーテスト ワークシート
10	<p>Program 6 単元テスト</p> <p>※ 表現問題としてパフォーマンステスト（ライティング）を実施する。</p>	(イ) (エ)	単元テスト 40分 ・筆記 30分 ・リスニング 10分

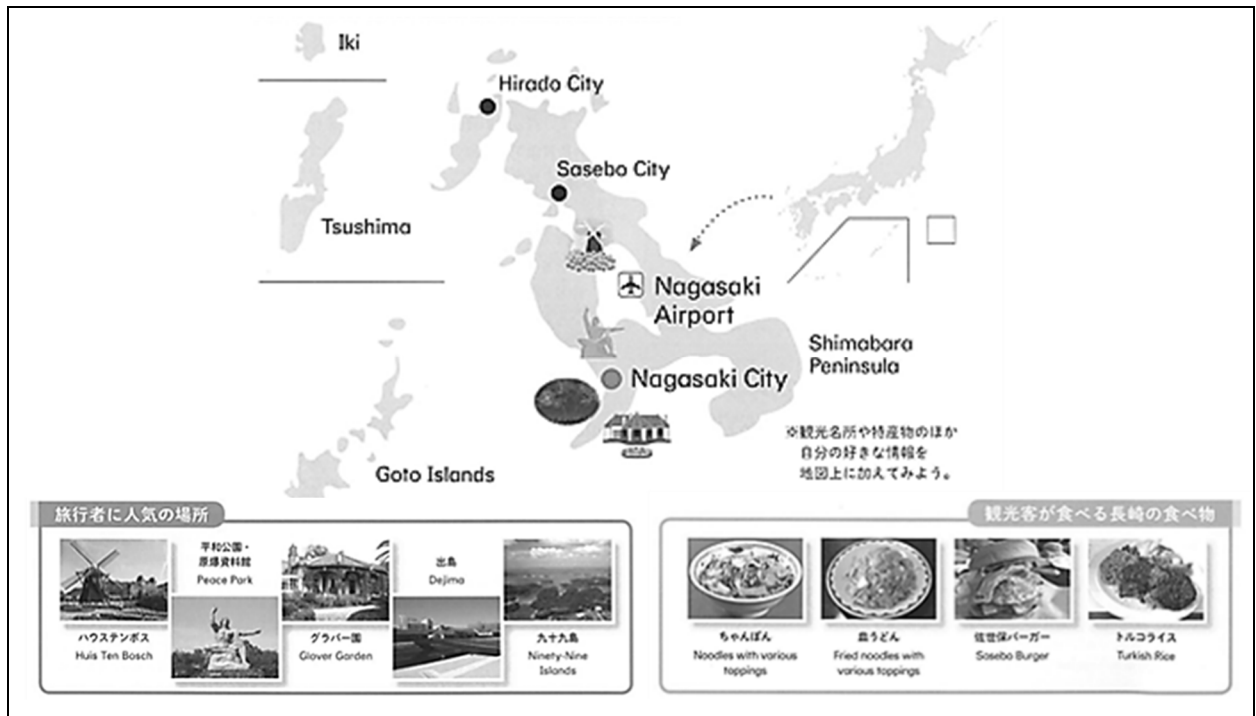
6 単元末におけるパフォーマンステスト

〈単元テストの表現問題として出題〉 ※ 理解問題については省略

設定：修学旅行が目前。班で「長崎での自由行動プラン」を話し合っています。あなたはどこに行きたいですか。またその理由は？ 学校で留守番をするALTのレイチェル先生に、「自分も行ってみたい!」と思わせるような「長崎での自由行動プラン」を紹介してください。

下記の資料をもとに、条件①と②を満たす英作文であること。

(条件：①20 語程度 ※文の数は問わない ②不定詞を用いる)



(生徒の解答例)

I want to go to Glover Garden to see the beautiful garden and house.

If it's sunny, we'll see the wonderful view there. (23 語)

7 本時の学習

(1) 目標

職場体験について、事実や自分の考え、気持ちなどを表現することができる。(不定詞の副詞的用法)

(2) 本時の授業の工夫

考えながら話し、それをもとに書き、書いたものを互いに読み合うという技能統合型の学習指導(言語活動)を実施する。

(3) 展開

	学習活動	活動内容および指導上の留意点	評価項目 (方法)
導 入 10 分	1 Activity (1) (帯活動) Topic 【オリンピックで見たい競技①】 (1) Interactive Teacher Talk <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: If you watch the Olympics, what event do you want to watch? B: I want to watch basketball. A: Oh, you want to watch basketball. <div style="text-align: center;">くり返す</div> <p>That's nice. <div style="text-align: center;">ひと言感想</div> Why do you want to watch it? <div style="text-align: center;">関連した質問</div> <p>A: Because I want to see Hachimura Rui.</p> </p></p></div>		

	<p>(3) Talking with a friend (ペア活動)</p> <p>(対話例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(自分の体験について説明する)</p> <p>A: I worked at the library. It's a very big and beautiful library. There were many people. They came to the library <u>to borrow</u> books. I used a computer <u>to check</u> books. It was very interesting.</p> <p>(対話につなげる)</p> <p>B: Did you enjoy it? A: Yes, I did. B: What did you learn? A: Many people like to read books.</p> <p>(説明と対話で3分程度)</p> </div> <p>(4) Writing</p> <p>(作文例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><u>I recommend this job!</u></p> <p>I worked at the library. A lot of people came to the library <u>to borrow</u> books. If you love books, it is very interesting and exciting. (27語)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをもとに対話させる。 ・相手を変える際には、使用した表現について確認させる。 ・事実を述べるだけでなく、気持ちを伝える表現を取り入れるよう促す。 ・メモや対話をもとに、自分の職場体験について20語程度の英文(紹介する文)を書く。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>B ALTの友人に「自分も働いてみたい」と思ってもらえるように、自分の体験したことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。</p> <p>Cの生徒への支援</p> <p>自分のわかる単語で表現できる情報がマッピングの中にあることを気付かせ、意欲を喚起する。</p> <p>【表現の能力】</p> <p>B ALTの友人に「自分も働いてみたい」と思ってもらえるように、自分の体験したことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて書いている。</p> <p>Cの生徒への支援</p> <p>教科書の表現や自分のわかる単語を使うよう助言することで、英文づくりへの気付きを促す。</p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>5 まとめ</p> <p>(1) Sharing</p> <p>(2) Reconsideration</p> <p>(3) Presentation</p> <p>6 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの紹介文を読み、ワークシートの指示に沿って線を入れる。一言感想を記入する。 ・表現について質問を受け、必要に応じて修正を加える。 ・数名の生徒に紹介文を発表させる。 ・本時で身についた力は何か(何ができるようになったか)を振り返る。 	